

## 平成 30 年度 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業実施報告

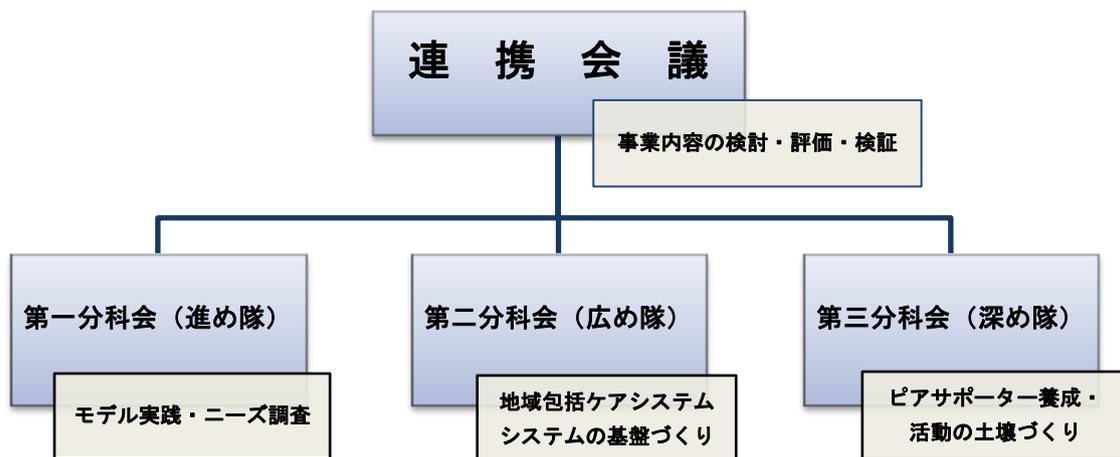
### 1. 目的

すべての精神障害者が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしをおくることができるよう、精神障害者支援に係る関係者相互の連携を図り、地域の課題を共有した上で、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を目指す。

### 2. 千葉市内精神科病院における入院患者数 (単位：人)

	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
入院患者数	1,121	1,133	1,081	1,039	1,018	990
うち 1 年以上	632	623	601	566	556	537
うち 5 年以上	373	360	342	332	303	297

### 3. 千葉市における地域包括ケアシステムの組織図と役割



### 4. 平成 30 年度の事業実施状況一覧 (平成 31 年 3 月 6 日時点)

進 め 隊	広 め 隊	深 め 隊	事業名	主な対象	回 数	参加者数・備考
			地域包括ケアシステム構築推進連携会議	委員	2	3/14 開催予定あり
			事業所職員等に対する研修・見学会	事業所職員等	12	参加者合計 233 人
○	○	○	全体研修 (3/3 開催)	専門職等	1	参加者合計 83 人
	○		広報・啓発活動Ⅰ	専門職等	3	参加者合計 168 人
	○		広報・啓発活動Ⅱ	市民等	3	参加者合計 65 人
		○	ピアサポーターの活用・養成事業	専門職・患者他	5	参加者合計 102 人
○			ニーズ調査	長期入院患者	1	(回答者 258 人)
		○	体験談プログラム	長期入院患者	1	参加者合計 17 人
○			日中活動(事業所)体験プログラム	長期入院患者	4	参加者合計 10 人
○			生活(宿泊)体験プログラム	長期入院患者	1	参加者合計 1 人

5. 各分科会（隊）による主な実施事業の詳細（4の再掲）

（1）広報・啓発活動 <第2分科会：広め隊>

①広報・啓発活動Ⅰ（専門職等対象）

	月 日	事業名	会 場	参加人数
1	2月1日	緑区多職種連携会議	緑保健福祉センター	98人
2	2月4日	緑区民児協研修	緑保健福祉センター	17人
3	3月6日	美浜区多職種連携会議	美浜保健福祉センター	53人

②広報・啓発活動Ⅱ（市民等対象）

	月 日	会 場	参加人数
1	11月2日	花見川団地 まちかど相談室花見川	17人
2	11月14日	桜が丘晴山苑	21人
3	12月16日	川戸小学校体育館	27人

（2）ピアサポーターの活用・養成事業 <第3分科会：深め隊>

	月 日	事業名	会 場	参加人数
1	8月20日	ピア見学会	地域活動支援センターまるめろ	11人
2	11月9日	体験談プログラム	下総精神医療センター	17人
3	11月29日	ピア交流会	地域活動支援センターまるめろ	21人
4	1月26日	ピアサポーター公開セミナー	千葉市保健所5階大会議室	27人
5	2月28日	ピア交流会	地域活動支援センターまるめろ	26人

（3）ニーズ調査[概要] <第1分科会：進め隊>

項 目	概 要
調査目的	調査対象者の声から長期入院の原因を明らかにし、必要な方策を検討する
調査期間	平成30年11月～12月
調査対象	千葉市内の精神科病院に1年以上入院する長期入院患者
回収状況	258人/447人（回収率58%）
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 回答者のうち、約4割が10年以上の長期入院者で、約5割が50～60歳代</li> <li>・ 約72%が退院したいと思っている</li> <li>・ 退院後は、家族と自宅で暮らしたいと考える方が最も多い</li> <li>・ 退院に向けて最も不安なことは「お金」と「病気」が多い</li> <li>・ 5割弱の方が「退院に関する声掛けが病院職員からされていない」と回答</li> </ul>
備 考	本調査の結果については、連携会議や分科会において検証し、本市における地域包括ケアシステム構築のための方策に活用していく。

（4）生活（宿泊）体験・日中活動体験プログラム <第1分科会：進め隊>

項 目	概 要
実施目的	（長期）入院患者の退院・地域移行支援の促進など
回数・人数	生活（宿泊）体験 1回1人 / 日中活動体験 4回10人
参加機関	精神科病院4、相談支援等事業所5、訪問看護事業所3、行政1